

平成29年9月5日
水管理・国土保全局

平成29年防災功労者内閣総理大臣表彰の受賞者が決定！ ～国土交通省関係では、1個人及び5団体が受賞～

平成29年防災功労者内閣総理大臣表彰[※]の受賞者（7個人、38団体）を内閣府において、決定しました。このうち国土交通省関係は、豪雨災害に対する水防活動、緊急災害対策活動、土砂災害防止活動に著しい功績があったとして、1個人及び5団体が表彰されることになりました。

なお、表彰式の日程等については、内閣府から別途発表があります。

※ 防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』（昭和57年5月11日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として行われるものです。

国土交通省関係の受賞者（1個人及び5団体）

（1）土砂災害防止活動関係：1個人〔防災体制の整備〕

・ ^{しもかわ えつろう}下川 悦郎<鹿児島県> 鹿児島大学地域防災教育研究センター特任教授

（2）水防活動関係：4団体〔災害現場での顕著な防災活動〕

（平成27年9月関東・東北豪雨における消防団の災害出動）

・ ^{にっこうしいまいち}日光市今市消防団<栃木県> ・ ^{にっこうしふじはら}日光市藤原消防団<栃木県>

（平成28年台風第11号及び第9号における消防団の災害出動）

・ ^{きたみちく}北見地区消防組合常呂消防団 ^{ところ}<北海道>

（平成28年台風第10号における消防団の災害出動）

・ ^{くじし}久慈市消防団 <岩手県>

（3）緊急災害対策活動関係：1団体〔災害現場での顕著な防災活動〕

（平成27年9月関東・東北豪雨における災害対策活動）

・ 緊急災害対策派遣隊 <国土交通省>

【問い合わせ先】国土交通省 水管理・国土保全局 代表 03-5253-8111

（1）土砂災害防止活動関係 直通 03-5253-8466

砂防部 砂防計画課 小野、山本（内線 36122, 36165）

（2）水防活動関係 直通 03-5253-8460

河川環境課 水防企画室 白石、富沢、小泉（内線 35452, 35455, 35458）

（3）緊急災害対策活動関係 直通 03-5253-8561

防災課 災害対策室 伊藤、板橋（内線 35822, 35824）

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

氏 名	しもかわ えつろう 下 川 悦 郎
役 職	鹿児島大学地域防災教育研究センター特任教授
功績の概要	<p>同氏は、砂防学における第一人者として、幅広い知見を踏まえて砂防行政へ有用な提言を行うなど防災の分野で多大な貢献をした。</p> <p>研究活動においては、桜島や雲仙岳等において火山噴火時の降灰や火砕流堆積後の侵食・土石流の発生メカニズムを解明するなど、学術的に極めて高い成果を挙げている。また、砂防学会長などの要職を歴任するなど、同氏の功績は極めて大きい。</p> <p>防災行政においては、阿蘇山、雲仙岳等の火山砂防計画の検討委員会の委員長や霧島火山防災連絡会コアメンバー会議の委員等を務め、九州各地の火山砂防対策等について、永年にわたり国や県等の関係機関へ有用な提言を行ってきた。また、鹿児島県土砂災害対策アドバイザーを務め、土砂災害の発生直後に現地調査を行い、警戒避難基準や対策工法等について関係機関に対し高度な技術的提言を行い、被災地の早期復旧に尽力されるなど、防災対策の推進に多大な貢献をした。</p>

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

(平成27年9月関東・東北豪雨における消防団の災害出動)

名 称	日光市今市消防団
所在地	栃木県日光市
代表者	ぬまお こういち 団 長 沼 尾 幸 一
功績の概要	<p>同消防団は、平成27年9月に発生した関東・東北豪雨に際し、3日間延べ702名が出動し、真夜中の豪雨という極めて危険な状況下で、水防活動とともに、住民の避難誘導、人命救助活動を優先的に行い、被害を最小限に抑え、平素の水防意識の高揚と相まって、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

名 称	日光市藤原消防団
所在地	栃木県日光市
代表者	つるみ よしみち 団 長 鶴 見 好 道
功績の概要	<p>同消防団は、平成27年9月に発生した関東・東北豪雨に際し、2日間延べ185名が出動し、降り続く豪雨、溢れ出る山からの水、冠水した道路等極めて困難な状況下で昼夜にわたり水防活動、住民の避難誘導、人命救助活動、交通整理を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

(平成28年台風第11号及び第9号における消防団の災害出動)

名 称	北見地区消防組合常呂消防団
所在地	北海道北見市
代表者	たぶち まさあき 団 長 田 淵 正 彰
功績の概要	同消防団は、平成28年8月北海道を連続して襲った平成28年台風第11号及び第9号の豪雨災害に際し、台風上陸前日より8日間で述べ129名が出動し、避難勧告、避難指示に伴う広報活動、警戒巡視及び住民の避難誘導を行うとともに、堤防決壊により水没した車両から乗員を救出するなど、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

(平成28年台風第10号における消防団の災害出動)

名 称	久慈市消防団
所在地	岩手県久慈市
代表者	ひろさき こういち 団 長 廣 崎 康 一
功績の概要	同消防団は、平成28年8月岩手県を襲った平成28年台風第10号の影響による集中豪雨に際し、台風上陸前日より8日間で述べ1,442名が出動し、河川の増水の影響からの越水や土砂崩れ、道路の決壊及び家屋の床上浸水等が発生している極めて危険な状況下の中、昼夜を問わず市民の避難誘導や人命救助、河川水門閉鎖、排水作業などを行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

(平成27年9月関東・東北豪雨における災害対策活動)

名 称	緊急災害対策派遣隊
所在地	東京都千代田区
代表者	関東地方整備局下館河川事務所 副所長 うちぼり すみお 内 堀 寿 美 男
功績の概要	同派遣隊は、平成27年9月に発生した関東・東北豪雨に際し、発災当日から4ヶ月以上にわたり活動し、全国から述べ2,563名が出動し、排水ポンプ車による24時間体制の緊急排水活動、自衛隊等による捜索活動を支援するため道路啓開や放置車両の撤去、土砂災害に対する被災状況調査、堆積した土砂により排水機能が失われた排水路等の土砂撤去などの市町村支援を実施することにより、被災地の早期復旧に向けて多大なる貢献をした。